

## ネキリムシ類（カブラヤガ）の発生に注意!!

カブラヤガは幼虫または蛹で越冬し、越冬後の成虫は、例年4月上旬頃から発生し始め、4月下旬頃にかけて発生が多くなります。

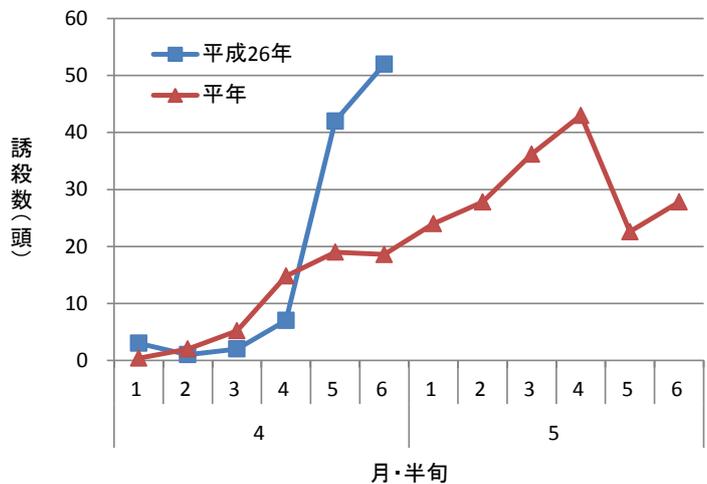
農業試験場のフェロモントラップでは、成虫の誘殺数が多く、時期も早くなっています。

今後、野菜等の播種・定植を予定している場合は、次世代の幼虫による被害が多くなる恐れがありますので、防除を徹底して下さい。

### 1 発生状況

農業試験場のフェロモントラップでは、4月20日以降、誘殺数が急増し、平年を大きく超えました。誘殺が多くなる時期も早くなっています。

今後、次世代幼虫による加害は、**5月上旬から下旬**にかけて多くなる見込みです。



### 2 防除対策

- 前作が休耕地または雑草地で、耕起して植え付ける場合や毎年被害が出る畑では、発生が多くなるので、殺虫剤を土壤に処理してから、播種・定植して下さい。

病害虫名	薬剤名	10a 当たり 使用量	使用時期	対象作物
ネキリムシ類	ネキリエース K (ネキリトク)	3kg	は種時又は定植時～生育初期 (収穫 14 日前まで)	ハクサイ
			は種時又は定植時	キャベツ、ダイコン
			定植時～生育初期 (収穫 14 日前まで)	ブロッコリー
			は種時又は定植時～生育初期 (収穫 21 日前まで)	レタス
			収穫 30 日前まで	ネギ、カブ
ネキリムシ	カルホス微粒剤 F	6kg	は種時～生育初期 (収穫 30 日前まで)	ダイコン
			は種時又は植付時	キャベツ、ハクサイ、 ネギ、レタス
		株当り 3g	定植時	スイカ、カボチャ

※ 農薬の使用にあたってはラベルをよく確認し、使用方法・回数を遵守して下さい。

☆最新の農薬登録情報 (<http://www.acis.famic.go.jp/SearchF/vtllm000.html>) を確認して下さい